

第1回都市総合開発審議会

アンケート報告



市民アンケート実施概要

◆ 調査目的

「木更津市総合計画第2次基本計画」の策定に向け、木更津市のイメージや既存の施策に対する満足度、今後の優先度等に関する市民意見について収集・分析を行い、今後の市政に反映することを目的としました。

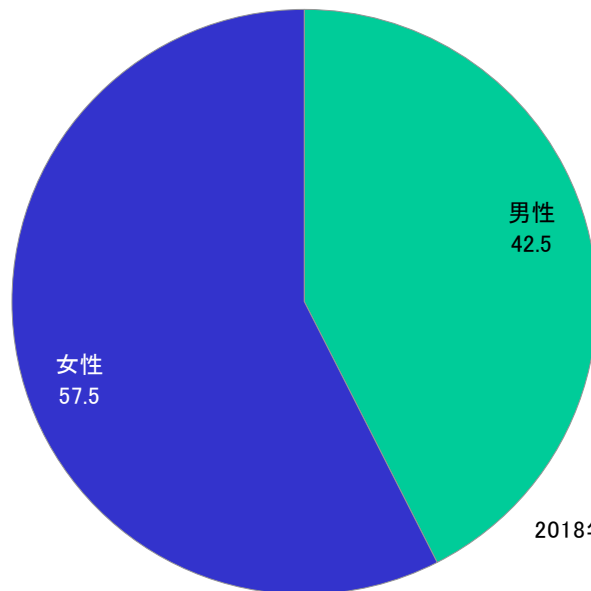
◆ 調査概要

調査対象	木更津市内に常在する18歳以上の男女
抽出方法	住民基本台帳より、該当する住民を無作為抽出
配布数	2,000件（うち戻り8件,有効配布数1,992件）
回収数	944件（うち白票 0 件,有効回収数 944 件）
有効回収率	47.4 %
調査方法	郵送による配布・回収
調査票回収期間	2018年6月8日（金）～2018年7月6日（金）

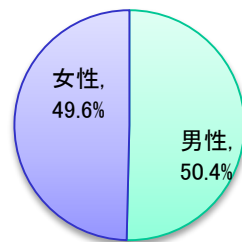
市民アンケート実施概要

◆ 回答者概要（性別・年齢）

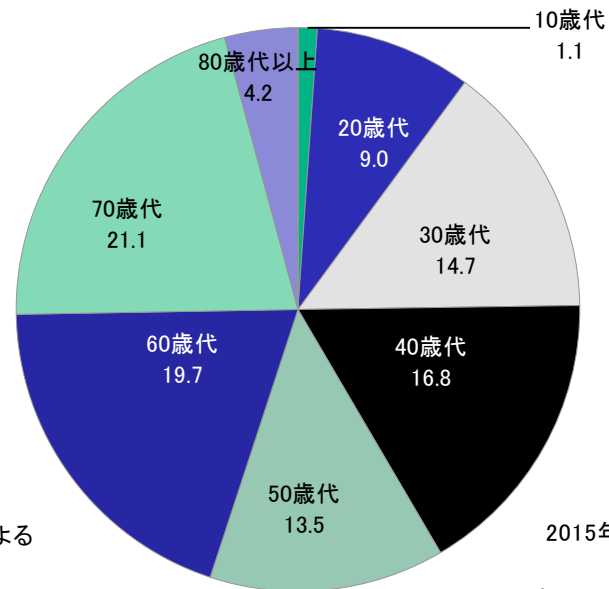
問13. 性別



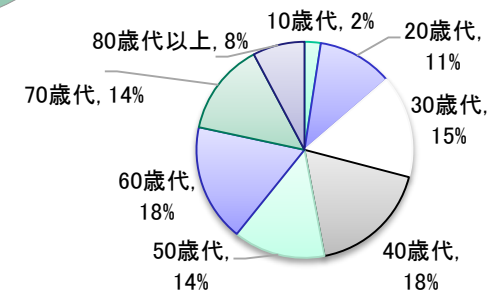
(参考)
2018年4月1日住民基本台帳による
男女別人口構成



問14. 年齢



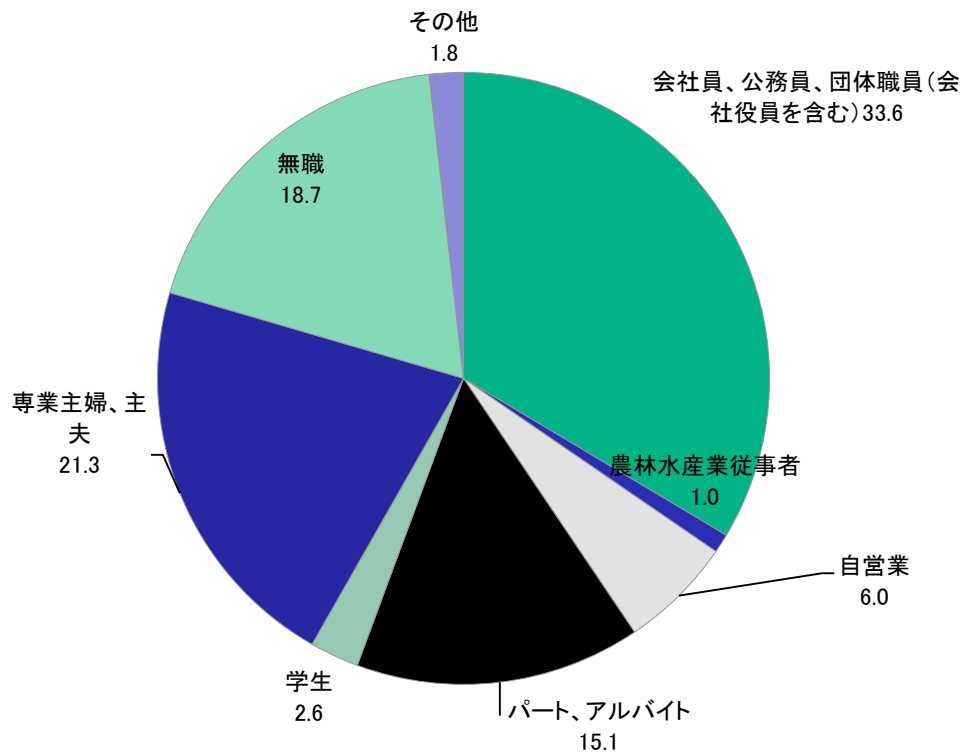
(参考)
2015年国勢調査時点の年齢構成



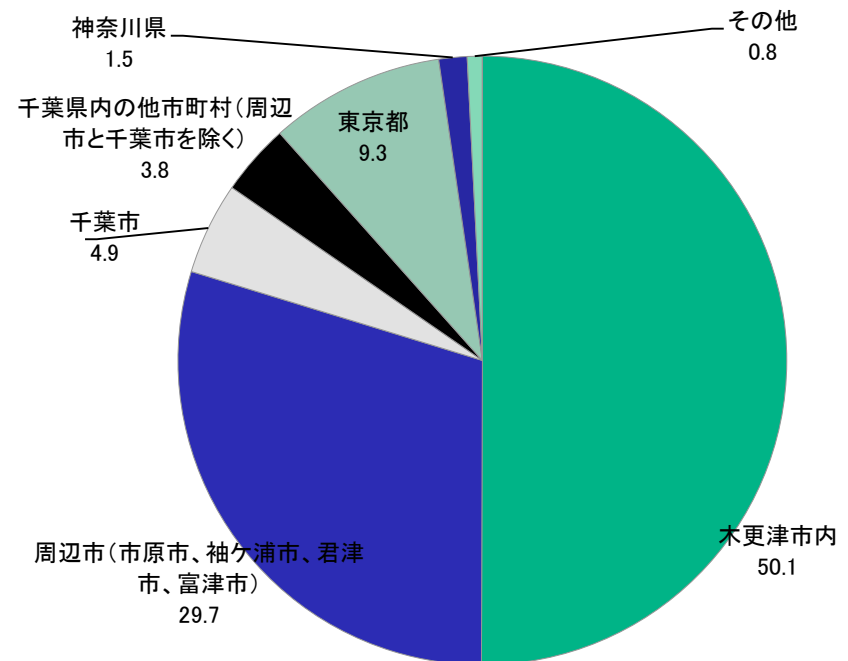
市民アンケート実施概要

◆ 回答者概要（職業・通勤・通学先）

問15. 職業

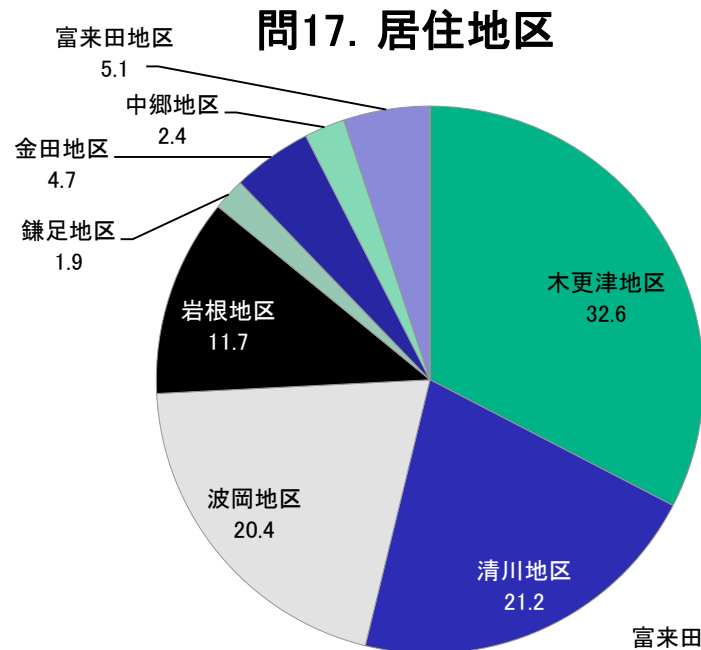


問16. 通勤・通学先

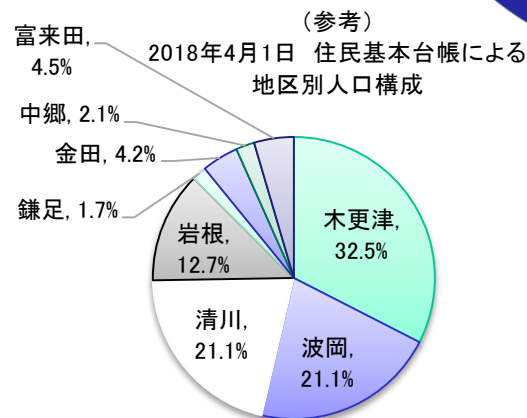
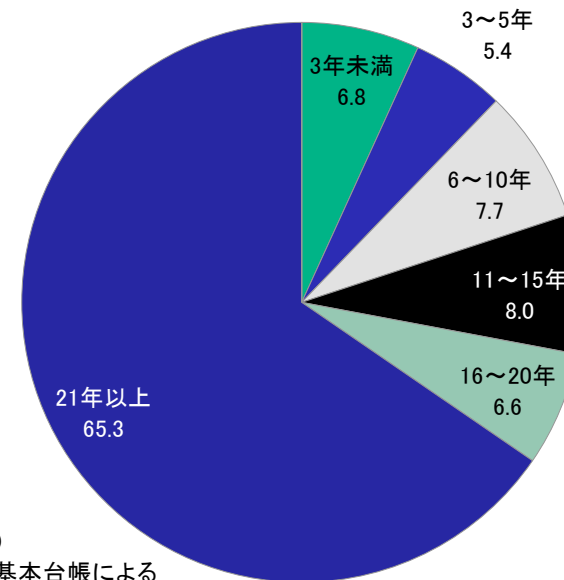


市民アンケート実施概要

◆ 回答者概要（居住地区・居住期間）

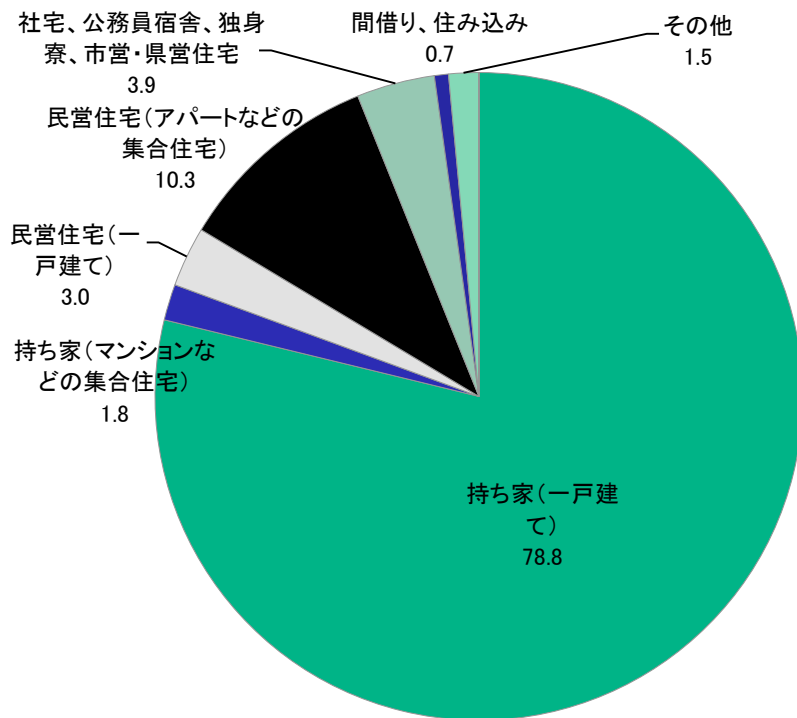


問18. 居住期間

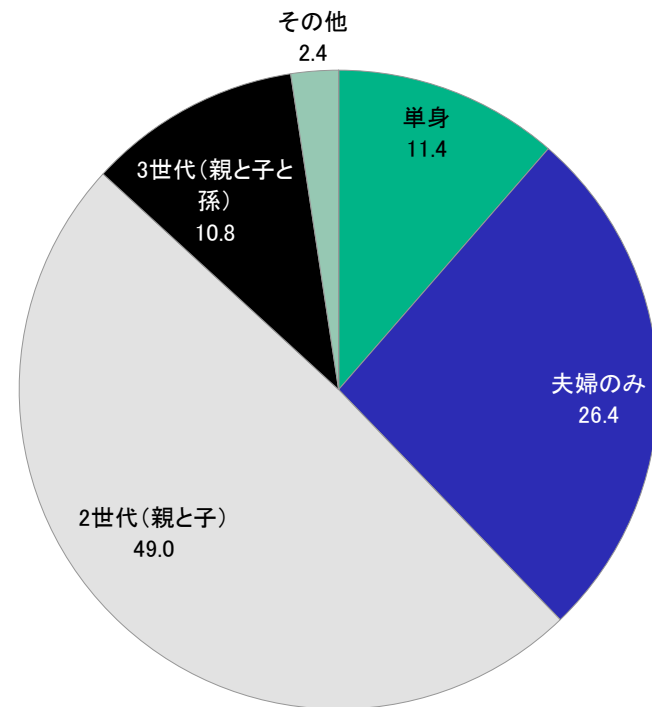


◆ 回答者概要（住居形態・家族構成）

問19. 住居形態



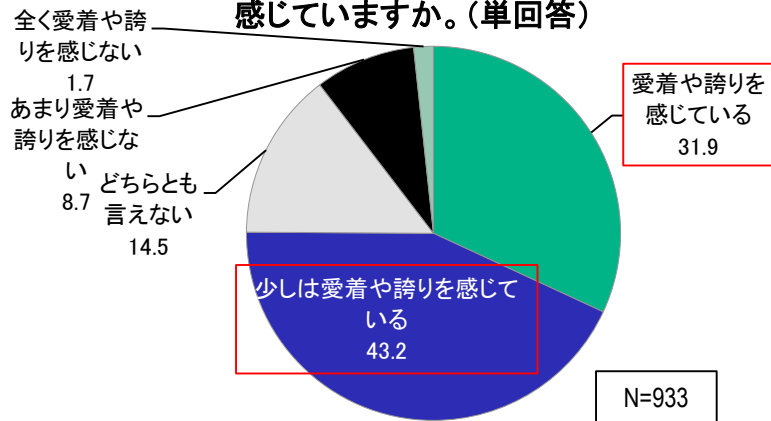
問20. 家族構成



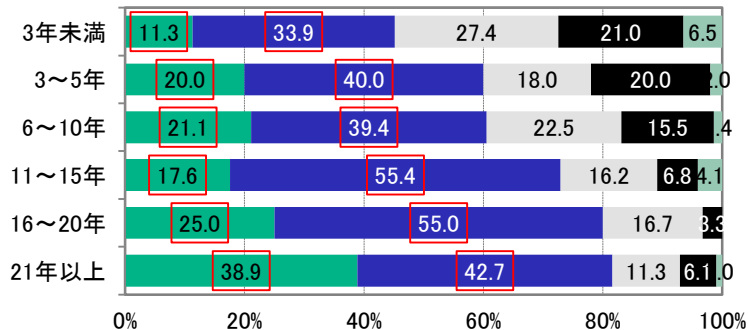
市民アンケート調査結果 ①木更津市へのイメージについて

- 愛着や誇りを感じている市民の割合は全体の75.1%であり、愛着度と居住年数は正比例する傾向にあります。
- 木更津市の魅力としては、東京・神奈川方面へのアクセスをはじめ、道路ネットワークに係る項目が特に多く挙げられています。

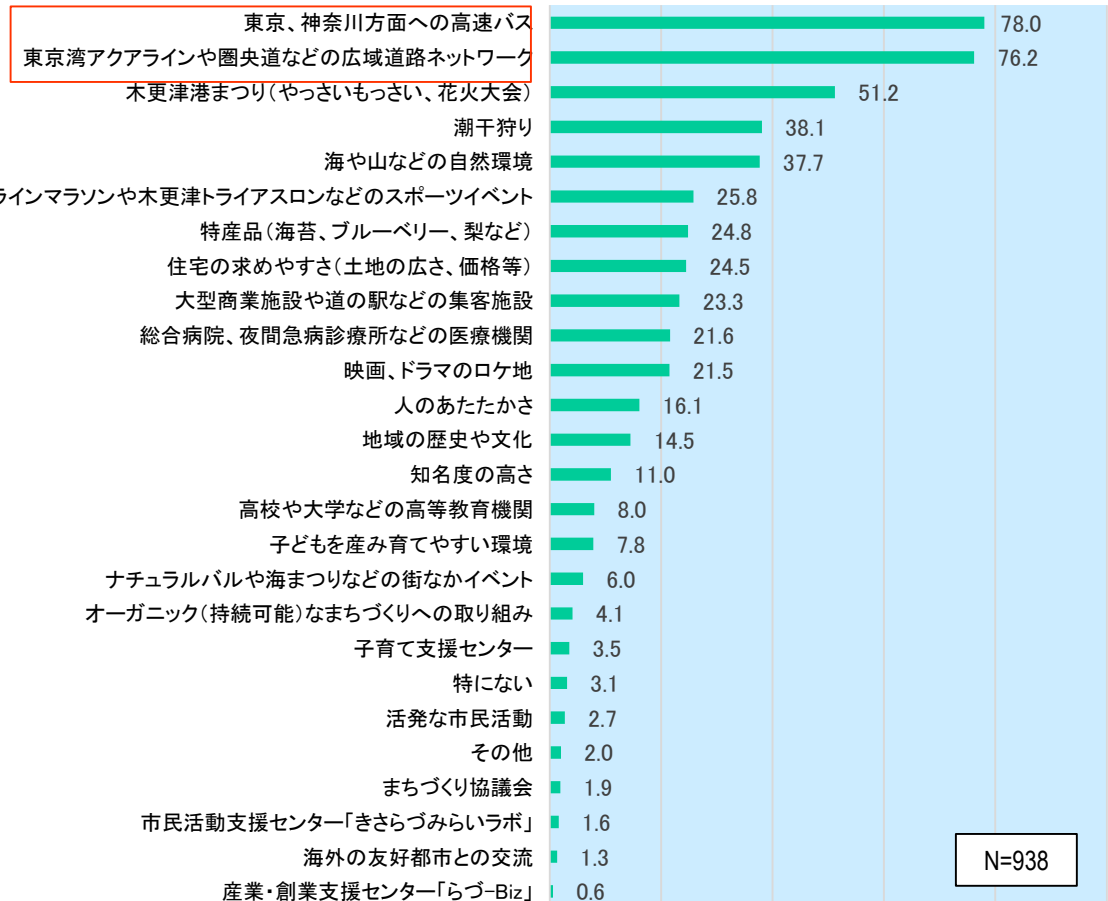
問1. あなたは、木更津市に愛着や誇りを感じていますか。(単回答)



問1. × 居住年数



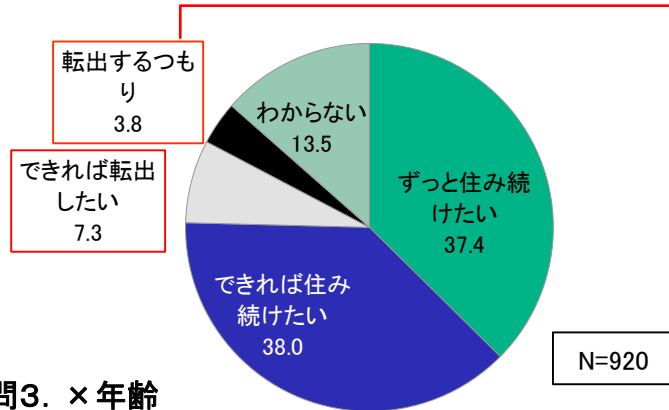
問2. あなたが感じる木更津市の魅力は、何ですか。(複数回答)



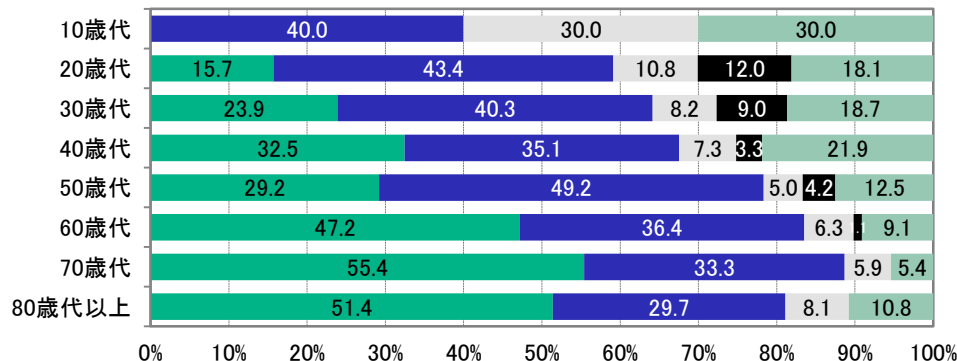
市民アンケート調査結果 ②定住意志について

- ずっと住み続けたい・できれば住み続けたいと答えた市民は全体の75.4%となっています。
- できれば転出したい・転出するつもりと答えた割合は、若年層ほど高い。家族構成別では、単身、2世代、夫婦のみの順に高くなっています。
- 転出したい理由としては、住むのに不便・ほかに住みたい地域があるが多く挙げられ、定住促進に向けてはこれら理由の詳細を検討していくことが求められます。

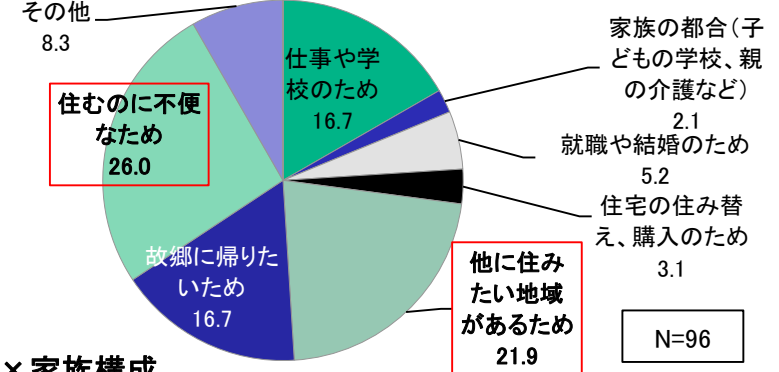
問3. あなたは、これからも木更津市に住みたいと考えていますか。(単回答)



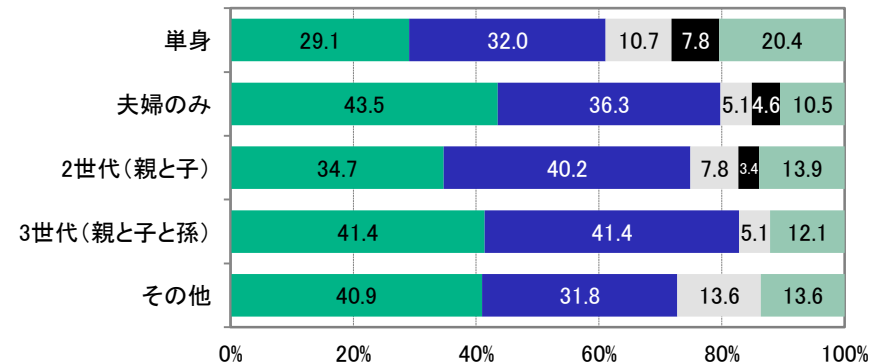
問3. × 年齢



問4. 転出したい理由にもっとも近いのはどれですか。(単回答)



問3. × 家族構成

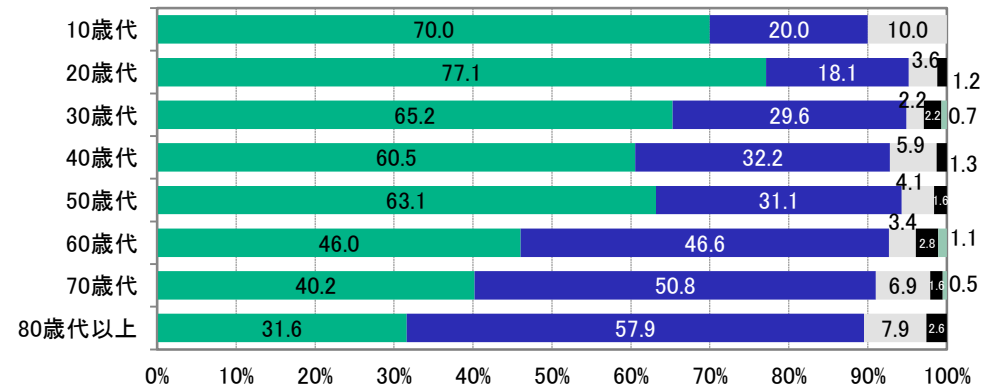
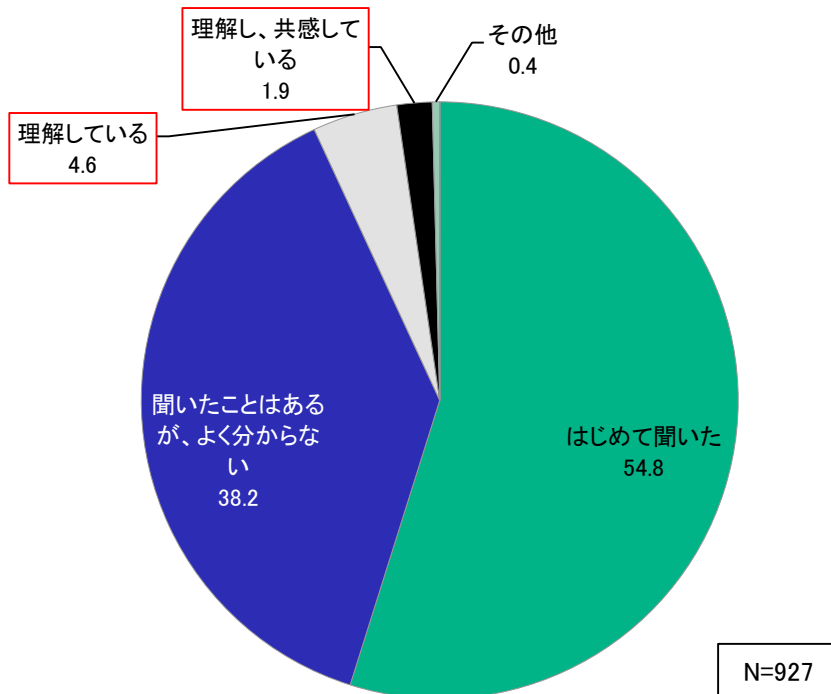


市民アンケート調査結果 ③「オーガニックなまちづくり」について

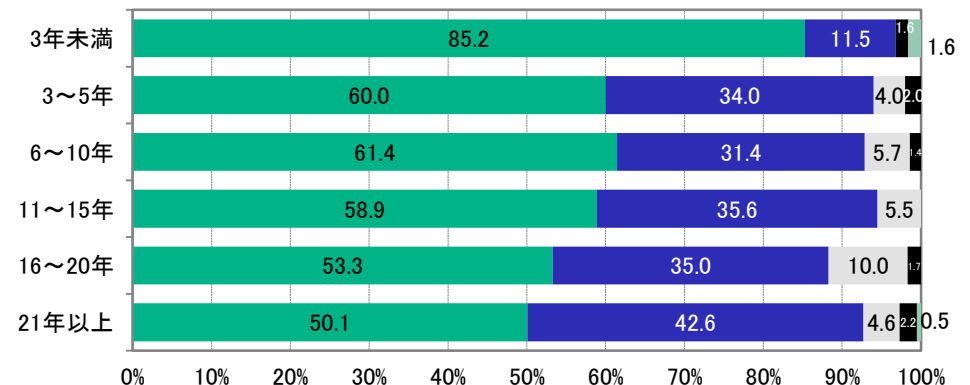
- 「オーガニックなまちづくり」について初めて聞いた市民は全体の54.8%、理解している市民は全体の6.5%に留まっています。
- 年齢別・居住年数別では、年齢や居住年数が上がるにつれ「はじめて聞いた」とする割合が概ね減少するものの、「理解している」とする割合は一定程度にとどまっています。

問5. × 年齢

問5. 現在、木更津市は、「オーガニックなまちづくり」を推進しています。この取り組みについて、あなたはどのくらい理解していますか。(単回答)



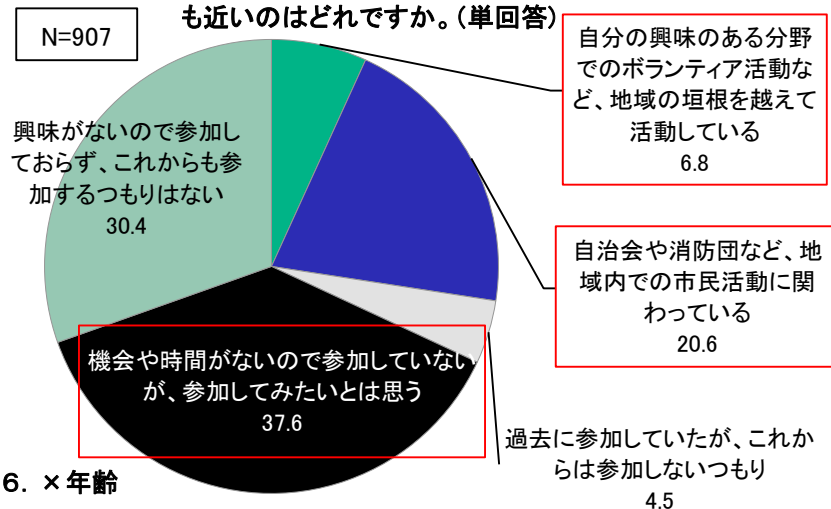
問5. × 居住年数



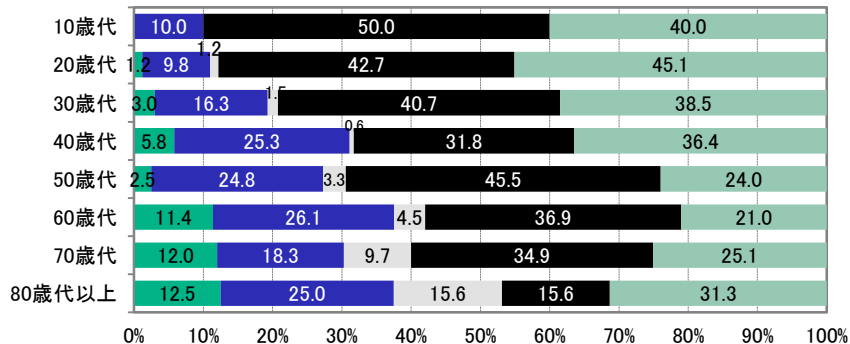
市民アンケート調査結果 ④市民活動(ボランティアやNPO活動)について

- 地域内外における何らかの市民活動に参加しているのは全体の27.4%、参加してみたいと思っているのは37.6%となっています。年齢別では、特に60歳代の参加割合が高くなっています。
- 市民活動への参加経験がある市民のうち、市民活動に対する市の取り組みに満足しているのは計23.6%と低く、今後の市民活動促進には、主に活動内容などの情報提供が求められていると考えられます。

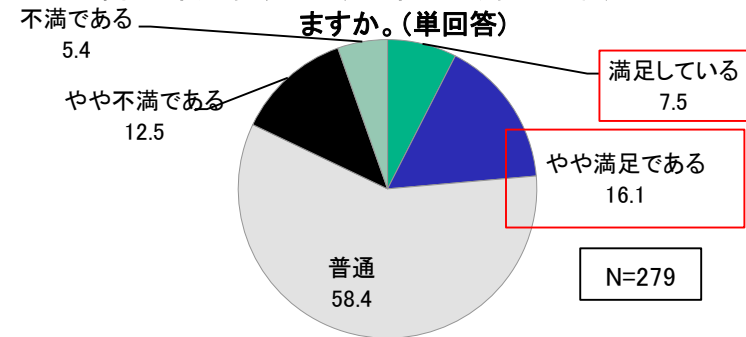
問6. 現在、木更津市は、「市民活動(ボランティアやNPO活動など)」を推進しています。あなたの市民活動の参加状況にもっとも近いのはどれですか。(単回答)



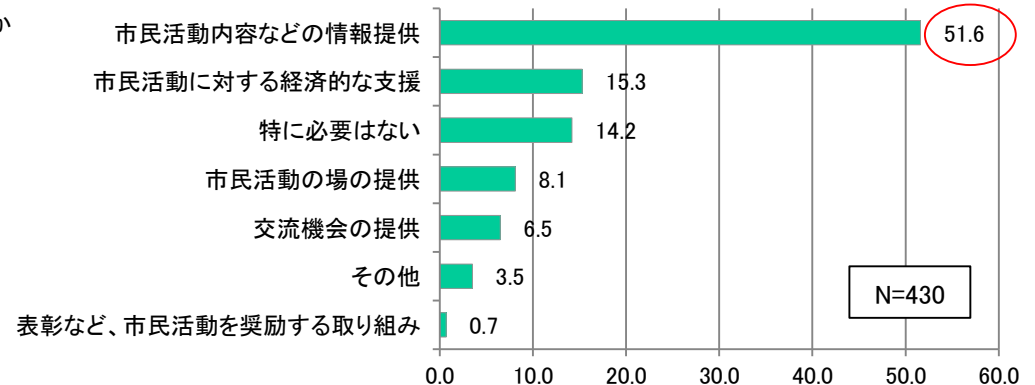
問6. × 年齢



問7. 市民活動に対する市の取り組みに満足していますか。(単回答)



問8. 市民活動を市民の皆様を広めるために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(単回答)



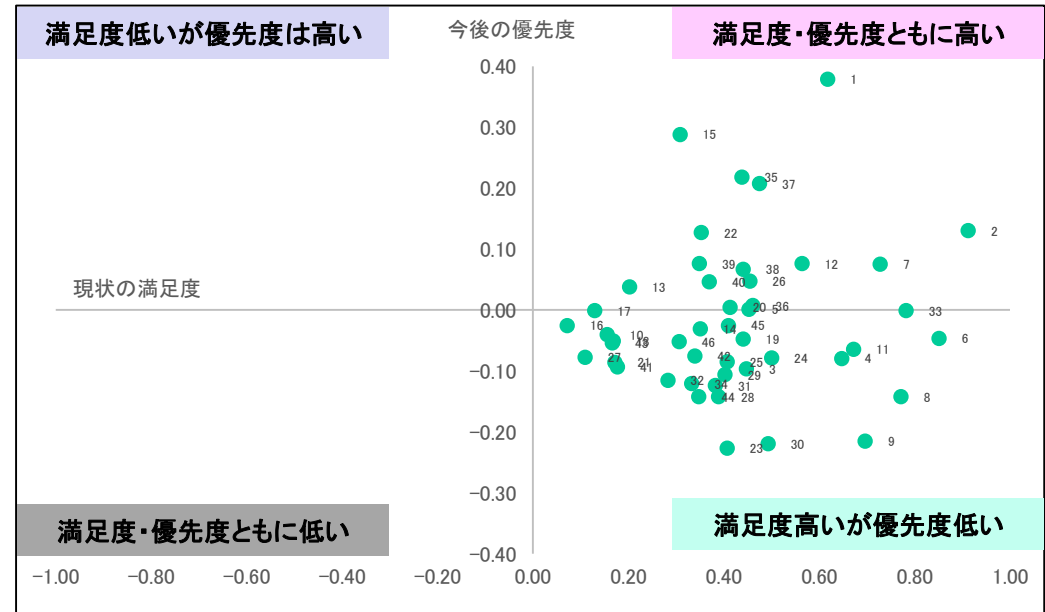
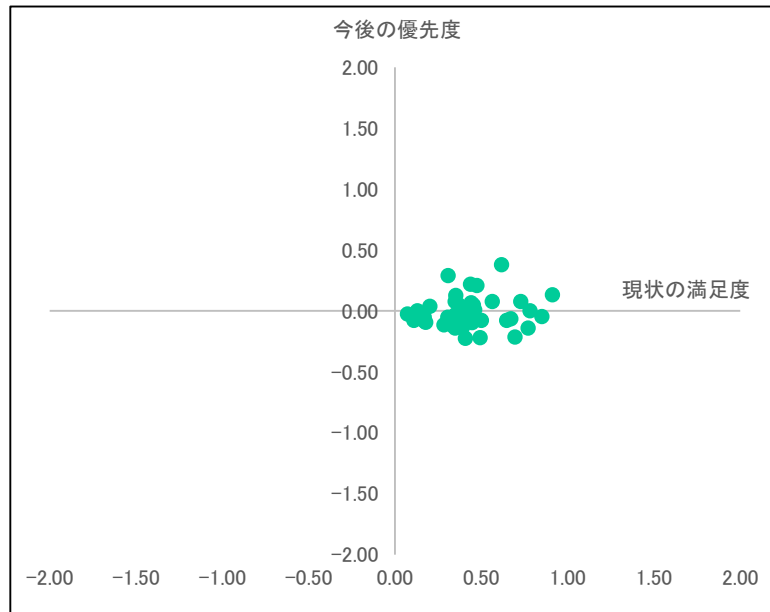
市民アンケート調査結果 ⑤施策の満足度・優先度について

- 既存の46施策（施策名は参考資料2参照）について、現状の満足度および今後の優先度について整理しました。
- 満足度・優先度を-2から2の値に段階付け、回答者のウエイトを加味した加重平均値を算出した結果、本市の施策に対する満足度は全体的に高く、今後の施策立案・推進の際には、優先度に関する市民意見を参考にすることが求められます。

※5段階の評価に各々2点、1点、0点、-1点、-2点という重みを設定し、例えば5段階各々に回答した人数が、 w_1 、 w_2 、 w_3 、 w_4 、 w_5 であった場合、加重平均値は以下の式で表されます。なお、この場合加重平均値は-2から2の値をとり、各施策に対する市民の満足度・優先度は2に近づくほど高くなることを表しています。（加重平均値）

$$= \frac{2点 \times w_1 + 1点 \times w_2 + 0点 \times w_3 + (-1点) \times w_4 + (-2点) \times w_5}{w_1 + w_2 + w_3 + w_4 + w_5}$$

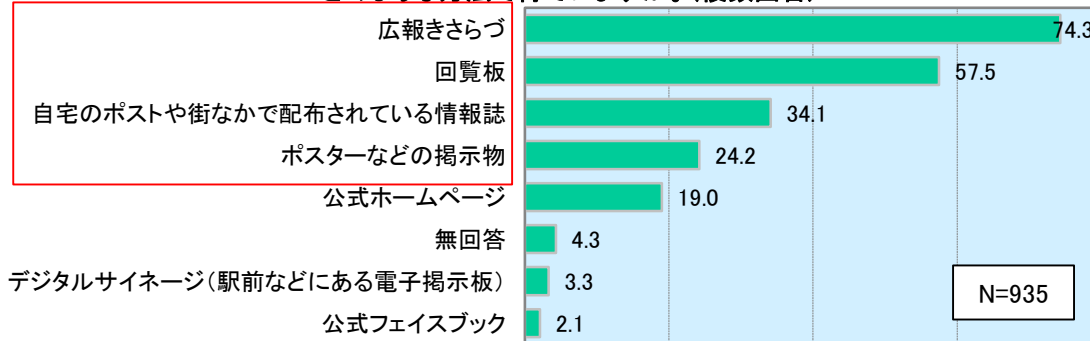
	最大値	最小値
現状の満足度	0.91	0.07
今後の優先度	0.38	-0.23



市民アンケート調査結果 ⑥木更津市の情報について

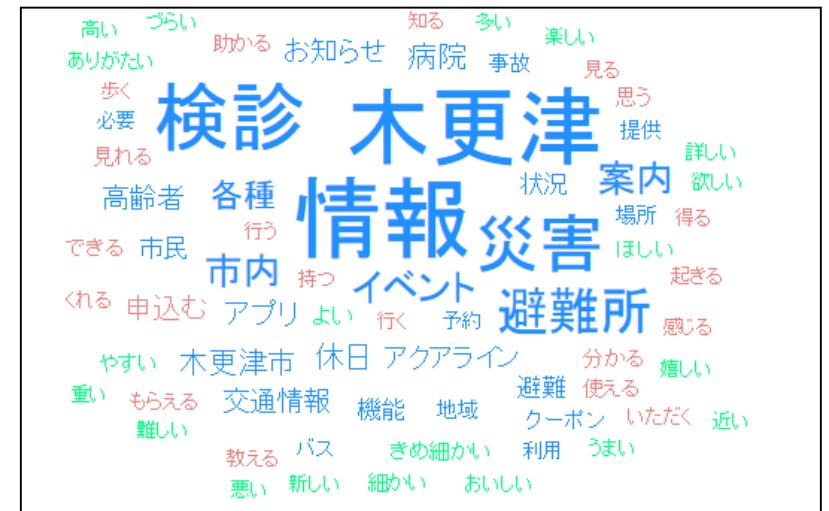
- 市に関する情報収集先としては、広報きさらづや回覧板、情報誌・掲示物などアナログ方式の媒体が多く挙げられ、公式ホームページや電子掲示板などデジタル方式の媒体を挙げる回答は限定的でした。
- 現在開発中のオリジナルアプリに対する要望としては、災害時の避難所や各種検診の情報案内を求める意見が目立ちます。その他、木更津市のイベントや市内案内、交通情報に関する情報を求める意見も散見されました。

問10. あなたは普段、木更津市に関する情報をどのような方法で得ていますか。(複数回答)



問12. 現在木更津市では、市民の皆さまが必要とする情報について、迅速に提供するための木更津市オリジナルアプリの開発を検討しています。アプリというツールだからこそ、できること・知りたいことなど、皆さまの欲しい情報や機能を、自由な発想でお教えてください。

(有効回答数368件)



※記述内容について、テキスト分析により頻出語の傾向を、文字の大きさや色で表したものです。頻出である程文字が大きくなる。また名詞が青色、赤が動詞、緑が形容詞である。

年齢 × 問11. 現在あなたが所持の、インターネットに接続可能な機器はどれですか。(複数回答)

